



読んでリフレッシュ！

福岡大学中央図書館
オンライン展示

2020.12.7-2021.2.27

リフレッシュしたい方のために
3つのテーマの資料を集めました。



食べる 3



動く 4



鑑賞する 5

食べる



「わんテーブル:犬と人が食体験を共有するための匂い伝送システム」

橋田 朋子 星野 瑠海著

ネットで読める論文です。人と犬で食べられるものは違います。それでも犬と人とが食事体験を共有するためにどうすればよいかを試行した実験です。図がかわいいので、クリックして見てみてください。



蔵書検索詳細画面



『いちばんおいしくできるきほんの料理』

大庭英子監修

野菜の切り方から調理の手順までフルカラー写真で丁寧に説明されています。料理を意識的に集中して作ってみると、スッキリします。スッキリした後のごはんはいつもより美味しいかも…？



蔵書検索詳細画面



表紙をクリックするとOPACに飛びます

『給食の歴史』 藤原辰史著

人によって嬉しかったり辛かったりする思い出がある「給食」。その意味や歴史を知ること、なじみ深かったものが新たな像を結ぶかもしれません。知ることは、自分の固定概念を変えます。固まっていた自分の知識や考え方をアップデートする気持ちよさを味わってみませんか？



蔵書検索詳細画面



『精霊の守り人』 上橋菜穂子著

漫画、アニメ、ドラマ化されている人気のファンタジー小説です。作中に出てくる料理は架空のものですが、なぜかとても美味しそうなのです。どんな味なのか想像しながら物語の世界に没頭してみてもいいのではないでしょうか。



蔵書検索詳細画面

動く



雑誌「日経ヘルス」

2020年12月号付録「ゆるストレッチ」
2020年6月号付録「経絡ヨガ」

遠隔授業を受け続ける生活で、体が硬くなっているのではないのでしょうか？「日経ヘルス」ではゆるストレッチやヨガなどの特集が組まれていますので、休憩時間に取り入れてみてはいかがでしょうか。

アクセス方法

「日経ヘルス」は大学学内のPCかリモートアクセス環境で見ることができるデータベースです。アクセス方法は以下をクリックしてください。



学外からデータベースを利用するには [日経BP編](#)



『長友佑都体幹トレーニング20』 長友佑都著

体幹を鍛えると、立つ、座るなど普通の動作が楽になります。家にいる時間を使って、好きな音楽をかけながら楽しくストレッチ＆トレーニングをしてみませんか？DVDもついているので、細かい動きを確認することができます。



蔵書検索詳細画面

表紙をクリックすると
OPACに飛びます



『『弱いロボット』の思考』 岡田美智男著

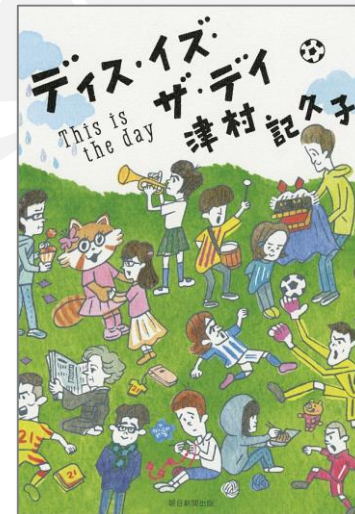
この本に出てくる「ゴミ箱ロボット」はゴミが拾えません。バスケット型の体をヨタヨタと動かして、ゴミの前に移動します。まるで「ゴミを拾って！」とでも言っているように体を斜めに傾けて、人にゴミを拾うように促すのです。この弱い動きによってロボットと人にコミュニケーションが生まれます。ロボットの「頼りない動き」がつながりを生む、という発想は新しくてあたたかいなと思いました。



蔵書検索詳細画面



<弱いロボット>動画



『デイス・イズ・ザ・デイ』 津村記久子著

スポーツでも他のものでも、何かを真剣に応援することは、人生に大きく影響するように思います。自分が応援しているつもりでも逆に支えてもらっている場合はけっこうあるのではないのでしょうか。



蔵書検索詳細画面

鑑賞する



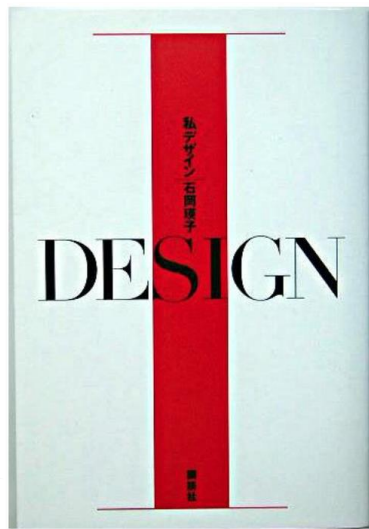
「ジャパンサーチ」

国内で保有している書籍、文化財、芸術作品などを横断検索できるポータルサイトです。たとえば「クロード・モネ」と入力すると国内所蔵のモネ作品を観ることができます。



ジャパンサーチ

表紙をクリックすると
OPACに飛びます



『私デザイン』 石岡瑛子著

著者は数々の映画や舞台、オリンピックの衣装などを担当してきた世界的なデザイナーです。作り手側の「今までに見たことのない全く新しいものを作る」という気概に触れると、作品に対して違和感を持つことは間違いがないと思えてきます。



蔵書検索詳細画面



『いちばんやさしい美術鑑賞』 青い日記帳著

アート鑑賞を、見たまま、感じたままの印象にとどめておくのはもったいない！鑑賞のテクニックを知っておけば、アートは格段に面白くなります。アート鑑賞は、世界の新しい見方、考え方を学ぶことでもあります。今までと少し違う世界へ、一步踏み出してみませんか？



蔵書検索詳細画面



『楽園のキャンバス』 原田マハ著

ミステリー仕立てになっているので、物語にぐいぐいひきこまれます。この作品を読むと、アートを鑑賞するときに、作品の背後にはどんなドラマが展開していたのだろう…と思わず想像してしまう癖がつかます。



蔵書検索詳細画面